

## 自動販売機設置場所貸付に係る仕様書

### 1 貸付場所及び貸付面積

財産名称	所在地	貸付面積	貸付箇所	台数
道後温泉 椿の湯	松山市道後湯之町 19 番 22 号	約 880 ㎜×770 ㎜=0.68 ㎡	1 階	1 台
道後温泉別館 飛鳥乃湯泉		約 880 ㎜×780 ㎜=0.69 ㎡	1 階	1 台

※貸付箇所は、別紙位置図を参照のこと。

### 2 貸付期間

令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

(募集要項 4 (3)のとおり、延長の場合あり。ただし、最長でも令和 11 年 3 月 31 日まで。)

### 3 設置する自動販売機の規格及び条件並びに設置場所を借り受ける者 (以下「設置者」という。) の遵守事項

#### (1) 大きさおよび景観対策

・大きさ

おおよそ W880mm×D770mm×H1,900mm 以内(道後温泉椿の湯 1 階)

おおよそ W880mm×D780 mm×H1,900mm 以内(道後温泉別館 飛鳥乃湯泉 1 階)

・景観対策

道後温泉椿の湯 1 階は、(外観色を含む) 周辺環境に配慮したユニバーサルデザインとする。

道後温泉別館 飛鳥乃湯泉 1 階は、館内が「愛媛の伝統工芸」と「最先端のアート」をコラボレーションした展示品等で飾り、デザインに凝った作りとなっている。よって、自動販売機についてもエントランスの雰囲気に合わせて、ラッピングすることとする。なお、デザインについては別途松山市と設置者で協議の上、決定する。また、ラッピング費用は設置者負担とする。

※エントランスのイメージについては、別紙「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉 1 階 自動販売機設置場所」を参照すること。

#### (2) 環境対策

① 省エネ 「照明の自動点滅・減光」、いわゆる「学習省エネ」及び「ピークカット」並びに「真空断熱材やヒートポンプ採用」など消費電力量の低減に資する技術等を導入した機種とする。

② ノンフロン 二酸化炭素又は炭化水素を冷媒として採用した機種とする。

### (3)安全対策

- ① 転倒防止 「自動販売機の据付基準」(JIS 規格)及び「自動販売機据付基準マニュアル」(日本自動販売機工業会作成)を遵守した措置を講じるものとする。
- ② 営業許可 商品販売に必要な営業許可を受けなければならない。
- ③ 防犯 硬貨選別装置及び紙幣識別装置のプログラム改変により、偽造硬貨又は偽造紙幣の使用による犯罪の防止に万全を尽くすものとする。また、屋内設置であっても「自動販売機堅牢化基準」(日本自動販売機工業会作成)を遵守し、犯罪防止に努めるものとする。

### (4)使用済み容器の回収

- ① 回収ボックスの設置 原則として自動販売機1台に1個の割合で自動販売機脇に設置する。また、詳細な設置場所及び回収ボックスの大きさは、松山市と協議すること。
- ② 回収ボックスの規格
  - ア 素材 プラスチック製又は金属製とする。
  - イ 容積 回収頻度と回収量を考慮し、回収ボックスから使用済み容器が溢れたり、周囲に散乱しない十分な収容容積とする。
  - ウ その他 ビン等容器の素材別に回収できるものとし、使用済み容器以外の投入を禁止する旨の表示をする。また、回収ボックス内の使用済み容器は設置者において回収し、周辺環境に配慮したユニバーサルデザインとする。
- ③ 使用済み容器の処理 容器包装リサイクル法(平成7年法律第112号)など、関係法令に基づいて適切に処理する。  
また、回収頻度については、松山市と協議すること。(週2回程度を想定している。)

### (5)自動販売機の設置及び管理運営

- ① 設置において、設置の位置、日時等、必要な事項を協議のうえ行う。また、設置した場所で支障が生じた際は、設置者の責において、移動すること。
- ② 設置者において、商品の補充及び変更、消費期限の確認、売上金の回収及び釣銭の補充並びに自動販売機内部・外部及び設置場所周辺の清掃などを行う。
- ③ 設置者において、消費期限の確認など、安定した高品質の商品を提供するための品質保証活動を行う。
- ④ 設置者において、専門技術サービス員による保守業務を随時行って維持に努める他、故障時には即時対応する。
- ⑤ 商品の補充及び使用済み容器の回収時間は、松山市と協議し決定する。
- ⑥ 商品に欠品が出た場合など、商品補充が必要と松山市から連絡があった際は、随時早急に商品を補充すること。

## 4 販売商品の種類等

- (1)種類 酒類を除く飲料とし、牛乳(生乳)を必ず取り扱うこと。
- (2)価格 標準販売価格(定価)以下とする。
- (3)容器 ペーパーカップは、不可とする。(紙パック可)  
瓶に入った牛乳(生乳)を必ず取り扱うこと。

## 5 自動販売機設置料（使用料）

自動販売機の設置に伴う松山市行政財産の目的外使用許可に係る料金で行政財産の使用料徴収条例の規定に基づき算定した額。

ただし、使用期間が1か月に満たないときは、1か月として算定し、1年未満のときは、年間使用料の12分の1の金額を月額とする。（端数は切り捨てる。）

## 6 自動販売機設置料（売上手数料）

市有財産内において、契約期間、自動販売機を用い営業を行うための権利を得るために、その期間の当該自販機の1台ごとの総売上金額（消費税及び地方消費税込）に、一定の率《落札した率》を乗じた額。

## 7 自動販売機設置料（電気料）

設置者が自ら設置したメーター（計量法(平成4年法律第51号)に基づく検査に合格したものに限り。）により計測した使用量に基づき、算出した額。

## 8 費用負担

(1) 自動販売機の設置、維持管理及び撤去にかかる全ての費用は、設置者が負担する。

(2) 電気使用量を計測するためのメーターを設置する費用は、設置者が負担する。なお、設置にあたっては、松山市担当職員の指示に従うものとする。

## 9 貸付場所の返還

契約の解除等により自動販売機を撤去する場合は、原状に回復して松山市担当職員の確認を受けなければならない。

## 10 自動販売機設置に伴う事故

松山市の責に帰することが明らかな場合を除き、設置事業者がその責を負う。

### 11 商品等の盗難及び破損

(1) 松山市の責に帰することが明らかな場合を除き、松山市はその責を負わない。

(2) 設置事業者は、商品及び自動販売機が汚損又は棄損したときは、自らの負担により速やかに復旧しなければならない。